

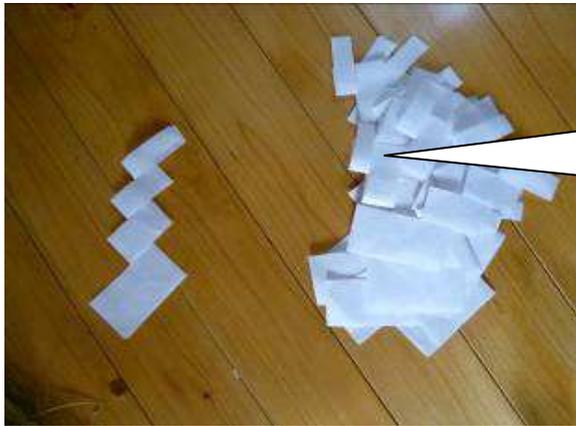
迎春準備

2015年ひつじ年を迎えるに当り、迎春準備を大晦日の一日をかけて行ないました。松下に就職して以来、毎年正月は山里で過ごしてきており、実は大阪で正月を迎えた年はありません。今年も、囲炉裏部屋で暖を取りながら飾り付けと準備で2014年12月の大晦日を過ごしました。



昨年収穫した稲を日陰で保管していた藁で細工をします。「おやす」と言われる五角形の飾り物を作り

家中の飾る箇所の数だけ作ります。



同様に同じ数の、「紙垂」を作ります。小生は斜め3段の「紙垂」にしています。

裏山から、榊を切り出し同じ数だけ枝を払い、寸法を揃えておきます



「おやす」と「紙垂」を「榊」の上側にくくりつけ、五穀豊穰、家内安全の願いを込めて作ってゆきます。

注連飾り。注連縄、おやす、紙垂、裏白、南天のシンプルな構成で作りました。



「おやす」は各部屋、蔵、納屋、ガレージ、等30箇所余り飾り付けて行きます。

玄関には門松を立てます。榊、フクラ、榊、注連縄、おやす、裏白、南天を使っています。



この迎春準備は、親父から20歳の時引継ぎもう44年になりました。毎年年末は欠かすことなく続けていますが、このような飾り付けをする家庭は、近所の集落8軒でも小生の家だけになっています。賑やかな年末年始の風景も華美でよいものですが、小さくさやかな年末風景もあってもよいのではと勝手に思い毎年意気込みながら続けています。